

中国 裁判所がリンゴ品種育成者の権利を支持

[FreshFruitPortal 2025年3月12日](#)

T&G社は、中華人民共和国最高人民法院が、同社のサイレート(Scilate)品種(登録商標 エンヴィ)のリンゴを権利侵害と無許可の増殖から保護するという以前の画期的な判決を支持すると決定をしたことを歓迎している。

甘粛省蘭州中級裁判所が2023年11月に下した当初の判決では、被告がサイレート品種の種苗を違法に栽培及び販売し、違法に植えられた種苗から収穫されたリンゴを販売することにより、T&Gの知的財産権を侵害したと認定した。

裁判所はT&Gに対する330万人民元(約7千万円)の損失賠償を命じ、侵害者に違法な種苗を取り除くよう要求した。

T&Gグローバル社のガレス・エッジコムCEOは、今回の決定は、新たに強化された種子法と知的財産権の保護に対する中国の取組みを補強するものだと述べ、「新しい植物品種を開発するには、何年もの研究開発投資に加えて広範な販売・マーケティング活動が必要である。中国の最高裁判所のこの判決により知的財産が中国で十分に保護されると知ること、弊社のような園芸ビジネスは投資に自信を持つことができる」と付け加えた。

中国国内では、フルーツテクノロジー企業であるジョイウィングマウ社が、すべてのサイレート品種のリンゴを栽培し、T&Gのプレミアムエンヴィ(愛妃)アップルのブランドで販売している。

同CEOはまた、「弊社は、品種管理子会社のベンチャーフルーツグローバル社とともに、リンゴ、ナシ、ベリー類の多数の新品種候補を持っており、中国でこれらの品種のライセンスを供与して栽培したいと考えている。今回の裁定の成功を受けて、我々の成長計画を進めていきたい」と述べた。

T&Gの子会社であるベンチャーフルーツ社はグループを代表し、植物品種の権利、植物育種の権利、植物特許、商標、著作権等、植物にかかる権利のすべての保護活動を主導している。

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)

米国カリフォルニア州 カンキツグリーニング病検疫規制地域を拡大

[米国農務省動植物検疫局通知 DA-2025-09 2025年3月12日](#)

件名: APHISはカリフォルニア州のカンキツグリーニング病(HLB)検疫規制地域を拡大

宛先: 州、部族及び準州の農業規制当局担当官

米国農務省動植物検疫局(APHIS)は、カリフォルニア州食品農業局(CDFA)と協力し、*Candidatus Liberibacter asiaticus* によって引き起こされるカンキツグリーニング病(黄龍病; HLB)の同州内の検疫規制地域を拡大し、これは直ちに発効する。拡大される地域は、オレンジ郡ミッションビエホ地域の13.16平方マイルである。APHISは、オレンジ郡の住宅地から採取された植物組織のサンプルからカンキツグリーニング病が検出されたためにこの措置を講じるものである。この拡大の影響を受ける商業的柑橘類園地はない。

APHISは、カリフォルニア州の検疫規制地域からの規制対象物品の州間移動について、連邦規則集第7編第301.76条及び連邦命令に概説されている保護措置を適用している。これらの措置は、CDFAが2025年2月13日に定めた州内の検疫と並行して行われる。この措置は、HLBが米国内の非感染地域に広がるのを防ぐために必要なものである。

カリフォルニア州の検疫規制地域の具体的な変更内容は、[APHISカンキツグリーニング病ウェブサイト](#)に掲載されている。APHISは、おつてこの変更を連邦官報に掲載する。(連絡先等省略)

(訳注: 1平方マイル=約2.59平方キロメートル、1エーカー=約0.405ヘクタール)